

21世紀の子どもの権利を考える part 2 フックレット

格差社会日本における「子ども期の貧困化」

— 国連子どもの権利条約と安倍第2次政権 —

語り 世取山洋介 (子どもの権利条約市民・NGO 報告書をつくる会事務局長)

国連子どもの権利委員会への
2つの報告書（「第4・5回政府報告書」と「市民NGO報告書」）が
よくわかるフックレット

1冊 300円 (A5版 81ページ)



1994年、日本が「国連子どもの権利条約」に批准してから24年が経過しています。国連子どもの権利委員会は、5年ごとに締約国からの報告を義務付けています。国連はこれまで、日本政府から3回の報告と市民NGOからの報告も受けながら、3回の最終所見（勧告）を出してきました。

日本政府は、報告期限の一年遅れとなる昨年2017年6月「第4・5回報告書」を提出しました。また同年11月、「市民NGO報告書をつくる会」は、政府報告に対するオルタナティブ・リポート『日本における子ども期の貧困化—新自由主義と新国家主義のもとで』を国連に提出しました。

そして、2018年2月国連子どもの権利委員会は、これらの報告書に基づく「予備審査」を行いました。

今春札幌にて、この2つの報告書と「予備審査」に深くかかわってこられた世取山洋介さん（「市民NGOの会」事務局長）をお招きし「講演会」を開催。この様子について、「実況中継」するために、この度、フックレットを発刊しました。

目次を参照していただければ、フックレットの概略がおわかりになると思います。

(目次詳細裏面)

フックレット購入申込について

氏名 _____

住所（送付先） 〒 _____

電話番号 _____

購入希望冊数 _____ 冊

- * 代金につきましては、送付の際に振込用紙を同封しますので、納金をお願いします。
- * 申し込みは、メールにて、氏名・住所・電話番号・希望冊数を記入お願いいたします。
メールアドレス: kodomotokyoku@gmail.com
- * 送料は、3冊まで100円、5冊まで130円、10冊まで200円 となっています。

【ブックレット目次】

はじめに

1. 国連子どもの権利委員会による審査の全体像・・・p 7
 2. 第4・5回政府報告書と代替的報告書の作成・・・p 9
 3. 第4・5回政府報告審査をめぐる2つの課題・・・p10
 4. 市民・NGO統一報告書のタイトルとその基本的なメッセージ・・・p14
 - (1) タイトルの変化とその意味
 - (2) 数量的データから
 - (3) 基本的なメッセージ
 - (4) 子どもの要求を軸とした子どもの発達観の展開—「自由な時間」というアイディア—
 5. 個別問題から一般的措置、一般原則へ・・・p25
 - (1) 報告ガイドラインの内容とガイドラインに基づく分析の醍醐味
 - (2) 「子どもの貧困」から予算へ
 - (3) 「子どもの貧困」から政策調整機関、国内法改正へ
 - (4) 「保育」から「子どもに直に接し、子どものために働く大人」へ
 - (5) 「子どもに直に接して子どものために働く大人」から厳罰主義へ
 - (6) 「子どもの良心の自律的形成」というコンセプト
 6. 国家の組織と機能の全面的変質の全体像と本条約に基づく対抗・・・p35
 - (1) 国家の組織と機能の全面的変質の理論的全体像
 - (2) 子どもの権利条約に基づく対抗
 - (3) 「3つのP」再考
 7. 予備審査と質問リストについて・・・p41
 - (1) 予備審査について
 - (2) 質問リストについて
 - (3) 質問リストへの対応
- おわりに・・・p49
- 資料1 日本政府第4・5回報告書からの抜粋・・・p50
- 資料2 「はじめに」、統一報告書『日本における子ども期の貧困化—新自由主義と新国家主義のもとで』より・・・p54
- 資料3 「第1章 新自由主義と新国家主義のもとでの『子ども期の貧困化』」、統一報告書『日本における子ども期の貧困化—新自由主義と新国家主義のもとで』より・・・p57
- 資料4 統一報告書『子ども期の貧困化』の目次・・・p72
- 資料5 予備審査でのプレゼン原稿・・・p74
- 資料6 日本政府第4・5回定期報告に関する質問リスト・・・p76

《ブックレット編集・発行》

子どもの権利条約市民・NGOの会(旧:つくる会) 子どもと教育・文化 道民の会

連絡先 札幌市中央区大通西12丁目 北海道高等学校教職員センター 3階

電話 090-9523-4396(柳)

メールアドレス:kodomotokyouiku@gmail.com

ホームページ: kodomotokyouiku.jimdo.com